

ベトナム向け港湾用クレーンを受注

IHI運搬機械株式会社(本社:東京都中央区,社長:大坪 英志,以下「IUK」)は、三井造船株式会社(本社:東京都中央区,社長:加藤 泰彦氏)とのJV(共同企業体)で、ベトナム交通運輸省傘下のPMU85から、ベトナム カイメップ・チーバイ国際港向けコンテナクレーンおよび多目的ジブクレーンを受注しました。

今回のカイメップ・チーバイ国際港開発事業向けのクレーンを本JVとしては、コンテナクレーン^(注1)4基、RTGクレーン^(注2)15基、多目的ジブクレーン^(注3)2基、港湾設備のコンピューターシステム^(注4)を受注し、IUKはこのうちコンテナクレーン4基、多目的ジブクレーン2基の製作を担当しました。引き渡しは、2013年10月の予定です。

カイメップ・チーバイ国際港は、ホーチミンシティの南東にあたるベトナムのパリア・ブンタオ省に位置します。ベトナムの主要港であるサイゴン港がホーチミン市中心部に近く、サイゴン川を遡上した場所に位置するため、取り扱い可能な貨物の量には限界がありました。そこで、ベトナムの発展とともに増加する物流を支えるため、2005年に日本政府とベトナム政府でODAローンの円借款契約が結ばれ、円借款案件として日本政府の協力で建設計画が進められてきました。カイメップ港はコンテナターミナル、チーバイ港は一般貨物ターミナルとなり、ベトナム経済の発展を支えていくこととなります。

IUKは約100年の歴史を持ち、各種クレーンを始め、常に運搬機械の技術をリードしてきました。クレーンのトップメーカーとして、これまでアジア地区を中心に世界各国で様々なタイプのクレーンおよび港湾荷役機器を納入してきました。今後も得意とする港湾向けクレーンを中心に、豊富な実績で蓄積されたノウハウ・技術を活かし、お客様のためにより安全で作業性の良い運搬機械を提供できる開発・販売を展開してまいります。

(注1):コンテナクレーン:

・岸壁に設置し、コンテナを荷揚げ、荷下しするためのクレーンです。海上輸送の主流であるコンテナ荷役においては、高効率、船舶の大型化への対応が求められており、当社ではメガコンテナクレーン等多数の実績を有しています。

(注2):RTGクレーン:

・Rubber Tyred Gantry Craneの略です。コンテナヤード内でコンテナを運搬するために使用されるクレーンです。

(注3):多目的ジブクレーン:

・フックブロックにグラブバケツやスプレッダーを取り付けることで、バラ積み品やコンテナもハンドリングすることができます。また、本プロジェクトでは高頻度稼働率を求められており、疲労強度が高く設定されていません。

(注4)：港湾設備のコンピュータシステム

・コンテナヤードにおいて、ヤード内の各機器のオペレーション、コンテナの配置などを総合的にマネジメントするコンピュータシステム。

以 上



コンテナクレーンの写真

【本件に関するお問い合わせ先】

IHI運搬機械株式会社

総務人事部総務グループ 広報担当 内山

TEL: 03-5550-5321

URL: <http://www.iuk.co.jp>

e-mail: webmaster@iuk.co.jp

*** 同内容のリリースを同時刻に三井造船株式会社もおこなっています。**